

# 工事凍結、生態系調査を

## ヒメボタル生息地・相生山緑地



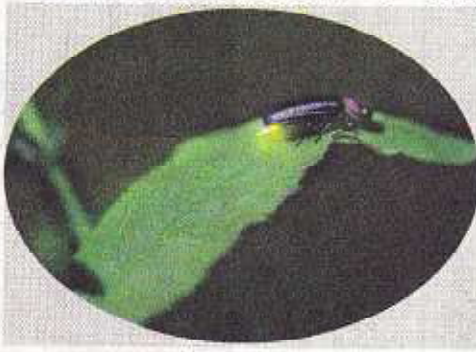
市道建設予定地の図を見ながら担当職員に質問する市民団体のメンバーら＝市役所で

ヒメボタルの有数の生息地とされる太白区の相生山緑地について、市が進める道路建設の凍結を求める声が高まっている。市民団体やホタルを撮影している写真家らが十九日、河村たかし市長あてに相次いで要望書を提出した。

(小中寿美)

地元で保護活動をする「あいち」や「相生山緑地」と九人が連名で「道路」など「エコミュージアム 住民の会」など八団体は生態系を中心になっ

### 市民団体など



相生山のヒメボタル (小原玲さん提供)

## 市長あて要望書提出相次ぐ

「ている沢を貫通する」と影響を心配し、工事凍結と、生態系調査などを求めた。

エコミュージアムあいちの高岡立明代表(左)は「(ヒメボタルの成虫数を数えるなどした)市の調査は生態系調査とは言えない。ヒメボタルなどを注目種とし、健全に生息できるかを確認するべきだ」と話した。

これとは別に千種区の写真家小原玲さん(右)が森林生態学や昆虫学など識者三人の意見書を添付した要望書を提出。環境調査と再検討を求めた。

河村たかし市長は同日、対応を報道陣に問われ「よう考えてみます。ちょっと待っててください」と述べた。